

第7章 事業計画

第1節 整備事業の考え方

史跡多田銀銅山遺跡で実施する整備事業は、第5章までの検討項目を考慮すると、長い年月と多大な費用を必要とすることが想定される。

そのため、整備事業実施については、期間を短期（5年、令和2～6年度）、中長期（6～10年、令和7～11年度）と区分して段階的に実施していく。

年次計画で示す内容は、第5章第2節で挙げた「保存のための整備」と、第5章第3節「活用のための整備」の一部（説明板の設置、改修等）を短期事業として取り組む（表7-1）。

中長期計画では「活用のための整備」に着手し、なかでも整備の緊急性、重要度が高いトイレ等便益施設の整備については、事業化に向けて検討する。

なお、デジタルコンテンツについては、段階的に可能な範囲からの導入を検討し、条件が整えば短期事業での実施を検討する。

本計画において設定する各段階における整備事項は、今後の調査研究の進捗や社会情勢等を踏まえて取り組むものとする。

なお、保存のための計画的な整備が終わった令和6年度に保存整備事業計画書を作成する。

表7-1 整備事業の実施時期

整備の分類	内 容	実施時期
保存のための整備	計画的な遺構保存の措置	短期整備計画
活用のための整備	説明板の整備、既存施設の改修	
	デジタルコンテンツの導入	中期整備計画
	便益施設の整備	長期整備計画
保存のための整備	復旧	随時実施

第2節 事業年次計画

表7-2に史跡地ごとの事業年次計画を整理した。短期事業については、第5章第2節及び第3節で個々の整備内容及び方法をまとめた。

それぞれの整備案件については、事業全体が進展していくにしたがって様々な課題が生じてくることも考慮する必要がある。

表7-2 事業年次計画

				保存に関する整備				実施年度(予定)			
				活用に関する整備							
主要遺跡名		分類	内 容	数量	事業年度						
					R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	中長期	
A ①大坂口番所跡	保存・管理 (防災・樹木管理等)	遺構の保存に影響を及ぼすおそれのある樹木の伐採		1,700 ㎡							
		見通しを妨げる樹木の間伐		2,250 ㎡							
	公開・活用施設	サインの新規設置	総合案内サイン	1 基							
			説明サイン	3 基							
B ②代官所跡	調査	代官所跡の保存のための整備のための内容範囲確認調査の実施		一式							
	保存・管理 (防災・樹木管理等)	遺構の保存に影響を及ぼすおそれのある樹木の伐採									
	実施設計	実施設計監理業務		一式							
	地盤整備	代官所跡平坦地の排水処理		243 m							
		代官所跡南東の水溜め		1 か所							
	石垣・石積の保存・修復	法面崩落箇所の修復		14 ㎡							
		石垣の保全措置		9.5 ㎡							
		石積の保全措置		95 ㎡							
		石段の保全措置(稲荷社)		100 ㎡							
		土手の修復(腰石積を含む)		7 ㎡							
	公開・活用施設	サインの撤去	誘導サイン(No.35)	1 基							
	C ④堀家製錬所跡	実施設計	実施設計監理業務		一式						
石垣・石積の保存・修復		石垣(基壇)の修復※天端の修復含む		47 ㎡							
保存・管理 (防災・樹木管理等)		煙道遺構の保存処理		60 m							
		遺構の保存に影響を及ぼすおそれのある樹木の伐採									
地盤整備		煙道吸込口周辺の崩落土砂撤去		2 か所							
⑤本町遺跡		保存・管理 (防災・樹木管理等)	遺構の保存に影響を及ぼすおそれのある樹木の伐採		3,850 ㎡						
⑥本町対岸遺跡	実施設計	実施設計監理業務		一式							
	保存・管理 (防災・樹木管理等)	遺構保存のための護岸措置		33 m							
	公開・活用施設	見通しを妨げる樹木の間伐		5,050 ㎡							
		サインの新規設置	説明サイン	1 基							
⑦桜・谷間歩群	石垣・石積の保存・修復	石積(基壇)の記録調査									
		石積(基壇)の修復※隅部		1.7 ㎡							
⑧金山彦神社	実施設計	実施設計監理業務		一式							
	保存・管理 (防災・樹木管理等)	石積の保存に影響を及ぼす樹木の伐採		40 ㎡							
	石垣・石積の保存・修復	石積(拝殿東側)の崩落防止措置		20 ㎡							
		石積の修復(拝殿正面石積の積み直し)		10 ㎡							
	公開・活用施設	サインの新規設置	説明サイン(No.45更新)	1 基							
			説明サイン	1 基							

第7章 事業計画

主要遺跡名	分類	内 容	数量	事業年度					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	中長期
C ⑨瀬戸谷間歩群	公開・活用施設	実施設計監理業務	一式						
		青木間歩坑内活用施設(支保材)の更新	一式						
		柵の更新	1 基						
		遊歩道の路面の補修等	10 m						
		ベンチの更新	2 基						
		サインの新規設置	説明サイン	1 基					
		サインの改修	説明サイン(No.56・57)	2 基					
D ⑩瓢箪・台所間歩群	地盤整備	坑口周辺の土砂撤去等(台所間歩入口付近)	1 m						
	公開・活用施設	坑口侵入防止柵の設置(小瓢箪間歩入口)	1 基						
		サインの改修	記名サイン(No.72・74)	2 基					
		サインの撤去	記名サイン(No.67)	1 基					
E 多田銀銅山悠久の館・悠久広場ゾーン	保存・管理 (防災・樹木管理等)	史跡標識の設置	1 基						
	公開・活用施設	サインの改修	説明サイン(No.21・23・24・25・26・27・28)	7 基					中長期
保存整備事業報告書の作成		保存整備事業報告書の作成	一式						
A～E全体	公開・活用施設	悠久の館やサイン設置箇所等におけるデジタルコンテンツによる解説	映像						中長期
			AR						中長期
			建物 AR						中長期
		悠久の館やサイン設置箇所等におけるQRコードステッカー作成		随時					
史跡隣接地	公開・活用施設	史跡隣接地にトイレの新規設置							長期
		史跡内等適地に四阿の新規設置							長期

